

レックスター Q&A リスト

【重要】 使用前の確認事項：攪拌（かくはん）について

【Q&A リスト】

- ①：スポンジ・クロス等の使用について
- ②：濃色車・ソリッド（黒・赤・青等の原色）の使用について
- ③：コーティング施工車の使用について
- ④：ガラス面の使用について
- ⑤：メッキ類の使用について
- ⑥：ヘッドライト・バイザー等の使用について
- ⑦：手塗り・機械の使用・塗布方法
- ⑧：施工面の状態（濡れた状態・汚れた状態）
- ⑨：光沢継続期間
- ⑩：施工可能台数について
- ⑪：塗装環境がある場所での使用について
- ⑫：内装パーツ（ダッシュボード等）の使用について
- ⑬：拭き上げ・拭き取りについて

使用前の確認事項：^{かくはん}攪拌について

- ・本製品はコンパウンドが配合されておりますので、使用前に必ず^{かくはん}攪拌を行ってください。
- ・^{かくはん}攪拌の目安は本製の中に入っている^{かくはん}攪拌玉の音がカラカラ鳴るまでしっかり^{かくはん}攪拌してください。
- ・泡の色が白い場合はコンパウンド成分がしっかり混ざっておりませんので、その際は再度、^{かくはん}攪拌を行ってください。
- ・気温の低い時期（季節）は^{かくはん}攪拌しにくい場合がございますが、その際は本製品をひっくり返した状態で1分～2分程度、おいてから^{かくはん}攪拌してください。^{かくはん}攪拌しやすくなります。

【Q&A リスト】

①：スポンジ・クロス等の使用について

- ・本製品はスポンジ・クロスどちらでも使用可能です。
ただし、クロス / スポンジ共、柔らかいタイプをご使用してください。荒目のスポンジ / 硬いクロス等でご使用になると拭き取りキズが発生する場合がございます。
- ・作業中にスポンジ / クロス等が汚れた場合はキレイなスポンジ / クロス等に変えてから引き続き作業を行ってください。
汚れが多く含んだスポンジ / クロス等で使用続けると、本製品の効果の低下及び作業箇所にキズを与える場合がございます。

②：濃色車・ソリッド（黒・赤・青等の原色）の使用について

- ・濃色車につきましては基本的に使用出来ませんが、一部の濃色車につきましては細かい拭きとりキズが発生・施工によって細かいキズが発生する場合がございますので、事前に目立たない箇所でテストを行ってください。
- ・本製品は濃色車の完全仕上げ（鏡面仕上げ）用のコンパウンドではございません。

③：コーティング施工車の使用について

- ・本製品はコーティング施工車（ガラス系コーティング等）のメンテナンスには使用出来ません。
- ・コーティング施工車につきましては、専用のコーティングメンテナンス剤を使用してください。

④：ガラス面の使用について

- ・本製品はワックス成分を含んでおりますので、ガラスへの使用には適しておりません。
- ・ワックス成分がガラス表面に付着することにより、乱反射を招き視界を悪くする恐れがございます。

⑤：メッキ類の使用について

- ・本製品でメッキ箇所には使用はできますが、メッキの種類・汚れ・キズ・シミの状態により完全に除去出来ない場合、及び損傷を与える場合がございますので、注意してください。

一部のメッキ類で使用出来ない場合がございますので、ご注意ください。

- ・一部の車種（国産・外車含む）で使用されているドア周りのメッキ部の汚れ・シミ等の除去は出来ません。
- ・金メッキへの使用は出来ません。

メッキの状態によっては悪化を招く場合がございますので、注意してください。

- ・メッキ部の損傷がある場合
- ・メッキの下地処理がしっかりされていない場合（粗悪品）

※使用箇所に不安がある場合は予め目立たない箇所でご使用になってから使用してください。

⑥：ヘッドライト・バイザー等の使用について

※硬質プラスチック以外で使用すると、逆にキズが悪化したり / 形状が変わってしまう場合がございますので使用しないでください。

【ヘッドライトの使用について】

- ・ヘッドライトの状態（クリアの質・劣化具合）によっては完全にキレイにならない場合がございます。
- ・一回の施工でくすみが残る場合は再度施工を行ってください。
- ・ポリッシャー等の機械類（バフがけ）で使用するとより効果が得られます。

【バイザー類の使用について】

- ・バイザーの状態（キズの深さ）によっては完全にキレイにならない場合がございます。
- ・一回の施工でくすみが残る場合は再度施工を行ってください。
- ・ポリッシャー等の機械類（バフがけ）で使用するとより効果が得られます。

⑦：手塗り・機械の使用・塗布方法

【手塗りによる施工】

・手塗りを行う際は、本溶剤はスポンジ/クロス等に塗布または、施工箇所^に直接塗布してから使用してください。
※施工箇所^に直接塗布する場合は飛び跳ねには気をつけてください。

・施工箇所を左右上下に^{こす}擦る様に行って、溶剤が伸びきってなくなるまで^{こす}擦ってください。

・本溶剤はコンパウンド成分が入っておりますので、しっかり^{こす}擦って頂く事により、キズの除去につながります。
※粉砕型コンパウンドを使用している^{こす}ので、擦る都度コンパウンドの粒子が細くなり、キズを消していきます。

【機械を使用しての施工】

・ワックスポリッシャー等の機械類を使用して施工を行う事ができます。

・バフまたは、施工箇所^に直接塗布してから使用してください。
※施工箇所^に直接塗布する場合は飛び跳ねには気をつけてください。

・施工に適しているのはワックスポリッシャー（ダブルアクション）になります。
※シングルポリッシャーで使用する事は出来ませんが、シングルポリッシャーで使用する場合はコンパウンドの焼付け・
カラミ・狭い箇所^に使用する際にエッジ等の接触には気をつけてください。
※使用するバフは細かい仕上げ用で行ってください。

⑧：施工面の状態（汚れた状態・濡れた状態）

・施工箇所は事前に水洗い等を行ってください。
ホコリ等がついた状態^で使用するとホコリ・汚れを通じて塗膜表面にキズを与えてしまう場合がございます。

・施工箇所が多少濡れた状態^{でも}使用することは出来ます。
ただし、濡れすぎの状態（ビショビショの状態）では溶剤が流れ落ちてしまい、作業に時間がかかってしまいます。

⑨：光沢継続期間

【塗膜表面】

- ・ワックス効果（光沢）の持続期間は、約1ヶ月間が目安になります。
 - ※塗膜下地の状態により光沢の持続期間は変わります。
 - ※コンパウンドによってキズを消したキズ戻りに関しては使用状況によって異なります。

【ヘッドライト・バイザー等】

- ・ワックス効果（光沢）の持続期間は、約1ヶ月間が目安になります。
 - ※保管箇所によって光沢の持続期間は変わります。
 - ※コンパウンドによってキズを消したキズ戻りに関しては使用状況によって異なります。

【メッキ類】

- ・ワックス効果（光沢）の持続期間は、約1ヶ月間が目安になります。
 - ※ホイール等については走行箇所等によりワックスの光沢持続期間は異なります。
 - ※コンパウンドによって落とした汚れの再付着については使用状況に応じて異なります。

⑩：施工可能台数

- ・本溶剤（1缶）での使用台数は3台になります。
 - ※施工する車の大きさ・汚れの度合により使用可能台数は変わります。

⑪：塗装環境がある場所での使用について

- ・本溶剤にはシリコン成分が配合されておりますので、塗装環境のある場所及び、塗装環境に影響を与える箇所での使用は出来ません。
 - ※シリコン成分により塗装に悪影響を及ぼす場合がございます。

⑫：内装パーツ（ダッシュボード等）の使用について

- ・ワックス成分が配合されておりますので、油分の付着によりホコリを寄せ付ける場合がありますので、オススメ致しません。
 - ※ご使用される場合は自己判断をお願いします。

⑬：拭き上げ・拭き取りについて

- ・施工箇所表面に余剰成分^{よじょう}がある場合は拭き取りを行ってください。
 - ※パフ/クロス等で施工して余剰成分^{よじょう}がない場合は拭き上げ作業を行わなくても大丈夫です。
 - ※施工後、1時間程度はワックス成分の密着が安定するまで、水洗い等を行わないでください。
光沢が失われる場合がございます。